



緑ヶ丘中学校
図書館教育係

10・11月の貸出状況

〜〜509冊の貸出がありました〜〜

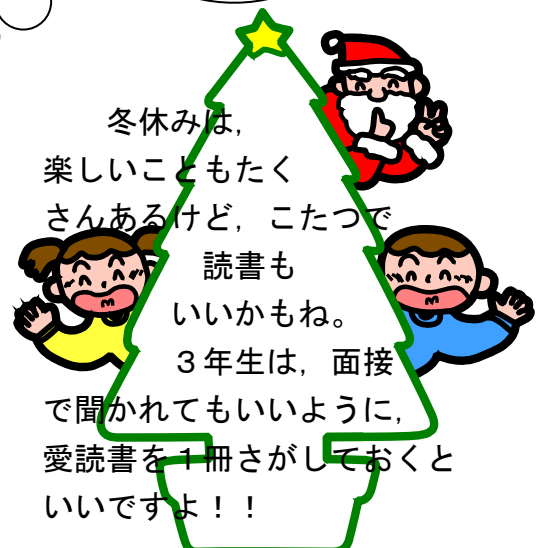
11月・12月の合併号になってしまいました。この2か月の間に「読書週間」があったにもかかわらず貸出冊数が伸びなかったのは残念です。たくさん読む人と読まない人の二極化が進んでいるようです。昨日のニュースにもありましたが、読解力をつけるには本を読むことが一番です。少しの時間でも本を読むようになるといいですね。いろいろな本に触れてください。

学年 クラス	1年	2年	3年
1組	128冊	35冊	17冊
2組	4冊	23冊	17冊
3組	31冊	97冊	38冊
4組	14冊	80冊	20冊
5組			5冊
合計	177冊	235冊	97冊
	509冊		

10・11月の多読者

1位	1年1組	THくん	48冊
2位	2年3組	STくん	38冊
3位	1年1組	WEくん	28冊
4位	2年3組	STくん	18冊
	2年3組	SMさん	18冊
6位	2年4組	YAくん	16冊
7位	1年1組	HTくん	13冊
8位	3年3組	ISくん	12冊
	1年1組	EYくん	12冊
10位	3年2組	ARくん	11冊
	3年3組	KMさん	11冊
	3年4組	ISくん	11冊
	2年2組	MSさん	11冊

女子の貸出冊数が増えてきました！うれしい限りです。たくさん読んで読解力を上げましょう。



先生方のおすすめの本！

「読書週間行事」から

緑ヶ丘中学校では、今年度の読書行事として「先生方のおすすめの本」を掲示しました。お昼の「ライブラリー放送」でも紹介しましたが、もう一度紹介したいと思います。先生方が読んだ本をぜひ読んでくださいね。

校長先生おすすめの本

「生物と無生物のあいだ」

福岡伸一著 講談社

- 生命とは何かについて、分子生物学の最前線にいる著者が果敢に挑戦した本で、単に科学の本というだけでなく詩的にさえ感じられる本だ。
- おもしろさで一気に読んでしまった本です。もし私が中学校か高校で

この本とであっていたら進む方向

がかわっていたかもしれないです。

ちょっとむずかしい
けどおすすめです。

これらの本は図書
室にあります！

お知らせ

☆☆冬休みの貸出は次のようになります！☆☆

- ・ 10日から14日は返却のみ
- ・ 15日から22日まで冬休み特別貸出
- ・ 一人3冊まで

HY先生おすすめの本

「博士の愛した数式」

小川洋子著

- 2時間しか記憶を持たない博士と家政婦の主人公との心の交流を語ったもの。
- 数学苦手な人、読んでみる価値あり

MS先生おすすめの本

「いちご同盟」

三田誠広著 集英社

- 中学3年生でピアノの得意なぼく（北沢）は、生きていくことに疑問をもっている。そんなとき野球部のピッチャー徹也にビデオの録画を頼まれる。入院している美少女直美に見せるためだ。美しく勝ち気な少女に心惹かれるぼく。しかし直美は…
- 中学生というみなさんと同じ年代の主人公です。進路や生きること、人を好きになることなどいろいろ考えながら読んでほしいと思います。

